

2021年8月2日
株式会社高島屋

「高島屋東別館」重要文化財指定のお知らせ

株式会社高島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：村田 善郎、以下当社）が所有する高島屋東別館（所在地：大阪市浪速区）が、2021年5月に開催された文化審議会の答申を受け、このたび8月2日（月）の官報告示により重要文化財（建造物）に指定されましたのでお知らせいたします。

高島屋東別館は、重要文化財（建造物）指定基準の「歴史的価値の高いもの」と評価されており、以下のようにその価値が認められています。

「長期に及ぶ幾多の増改築によって成立した戦前期屈指の大規模百貨店建築であり、戦前期の大阪を象徴する商業地区である堺筋の都市景観の形成に寄与しています。また豊かな装飾を施した細部意匠や平面計画、建築設備、防火対策を入念に施す等、創建時の特徴が残されており、近代における百貨店建築の大規模化の過程を知るうえで貴重な建物です。また百貨店建築の設計に長けた建築家である鈴木禎次の代表作の一つとしても重要です。」

高島屋東別館は、1928年に松坂屋大阪店として建築され、1937年まで3期にわたって（4期は中断）増築が行われました。1966年に松坂屋が天満橋に移転した後、1968年からは高島屋の東別館となり、売場、事務所、高島屋史料館等として利用してまいりました。2020年には改修工事が完了し、現在は宿泊を中心に、飲食や展示スペースを併設する複合施設となっています。当社は、重要文化財の指定を受けた意義を十分に認識し、高島屋東別館の歴史的価値を将来に伝える役割を果たしてまいります。

■建造物概要

名 称：高島屋東別館

所 在 地：大阪府大阪市浪速区日本橋3丁目

構造及び大きさ：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階建一部8階建、地下3階 建築面積4,832㎡

■歴史

1928年 松坂屋大阪店として第1期工事落成（南側）

1934年 第2期工事落成（北側）

1937年 第3期工事落成（中央部連結、現在の姿）

1966年 松坂屋が天満橋に移転

1968年 高島屋東別館開設

2019年 国の有形文化財（建造物）に登録

2020年 高島屋史料館・ホテル・飲食・事務所などの複合施設としてリノベーションオープン

2021年 重要文化財（建造物）に指定

■特徴

<11連アーチ>

1階から2階にかけての下層部には11連のアーチを並べ、半円部分にテラコッタ彫刻を施しており、堺筋側を豊かに装飾している。

<アーケード>

2階分の高さを有し、堺筋に面して約67mの長さで設けられている。内側には細やかな装飾を施したショーウィンドウが並び、柱梁に黒大理石を張り、床は三色のテラゾー仕上げの壮麗な歩廊になっている。

<大階段・エレベーターホール>

南北の大階段（1階）は、親柱に装飾された照明とともにデザインが施され、エレベーターは黒大理石で縁取るとともに欄間や柱飾りにホワイトブロンズを配している。また大階段、エレベーターホールともに黄色大理石が多く用いられ、豪華な空間になっている。

【現在の高島屋東別館】



【 外観 南西側 】



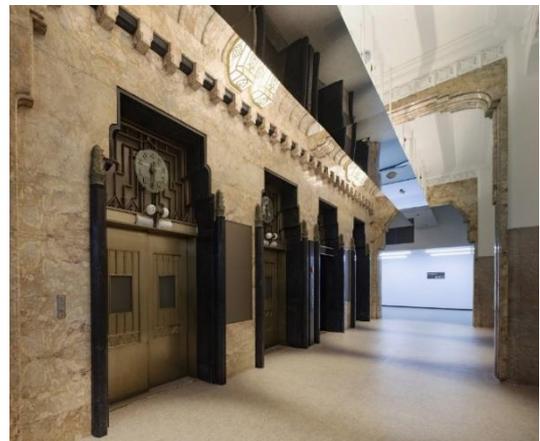
【 西面中央部 】



【 西面アーケード 】



【 大階段 】



【 エレベーターホール 】

※写真は全て竹中工務店提供

以 上